

S I D R 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第26号

第26週(6月23日～6月29日)

発行年月日:平成15年(2003年) 7月 4日
 発行:滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (26週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (26週)	全国 (26週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	210	6	693
	パラチフス	0	0	19	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	610	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	248	6	453
	エキノкокクス症	0	0	11	1	9
	オウム病	0	1	28	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	1	441	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	55	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	36	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	5	410	6	888
	ツツガムシ病	0	1	129	0	329
	梅毒	0	1	232	4	561
	破傷風	0	1	32	0	105
	レジオネラ症	0	0	56	1	166

*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.69	2.29	0.33	0	0.40	0	0.50	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.97	0.57	2.67	0.25	0.80	0	0.50	2.00	
感染性胃腸炎	2.00	5.43	3.17	0.50	0.40	0.25	0.50	0	
水痘	1.69	1.00	3.33	2.25	0.60	1.75	1.50	1.00	
手足口病	1.84	2.43	3.50	0	0.80	4.00	0.25	0	
伝染性紅斑	0.16	0	0.17	0.50	0	0.50	0	0	
突発性発疹	0.69	0.29	1.33	1.00	0	0	2.00	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.09	0	0.17	0	0	0.25	0.25	0	
ヘルパンギーナ	5.78	6.86	10.67	2.75	8.40	1.00	0.50	7.00	
麻疹	0.03	0	0	0.25	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.81	0.43	1.50	0	0.20	1.50	0.50	2.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 1 2 3 4 5 6 7
 定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

ヘルパンギーナ、手足口病の発生は急増

ヘルパンギーナの患者から分離されているウイルス(1997~2002年、全国)

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、A群溶連菌咽頭炎、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数が増加しています。咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘等の定点当たり患者数は減少しています。

咽頭結膜熱については、先週より減少していますが、**大津**および**草津**保健所管内で先週に引き続き多くなっています。また、全国の定点当たり患者数は増加傾向となっています。

A群溶連菌咽頭炎については、**草津**保健所管内の定点当たり患者数は2.67となっており、多い状態が続いています。

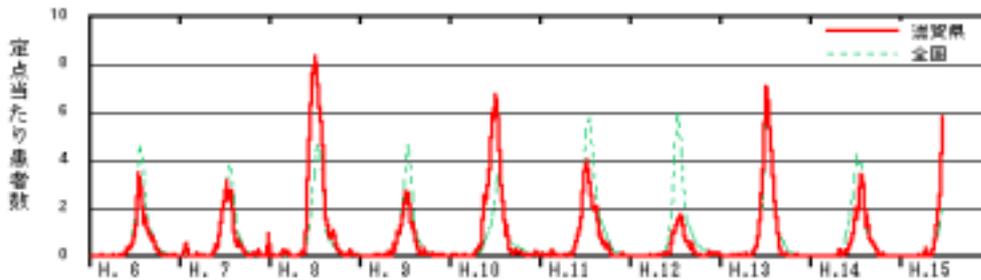
感染性胃腸炎については、定点当たり患者数は減少傾向となっていますが、**大津**および**草津**保健所管内においては、それぞれ5.43、3.17と多くなっています。

ヘルパンギーナについては、先週の定点当たり患者数は2.84でしたが、今週の定点当たり患者数は5.78となっており急増しています。特に、**草津**、**八日市**、**今津**、**大津**保健所管内で多くなっています。

手足口病については、**彦根**および**草津**保健所管内の定点当たり患者数が多くなっています。

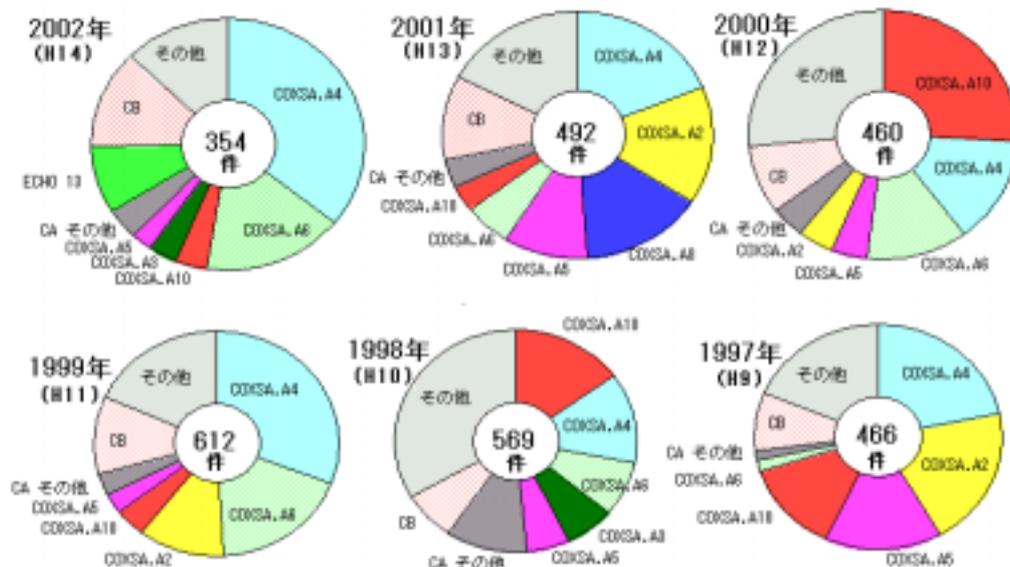
* ヘルパンギーナの年別発生状況(平成6年~平成15年第26週)は下記のグラフのとおりです。

ヘルパンギーナの年別発生状況(平成6年第1週~平成15年第26週)



ヘルパンギーナの患者から分離されているウイルス

(IASRホームページ、病原微生物検出情報;2003年5月26日現在報告分からの引用)

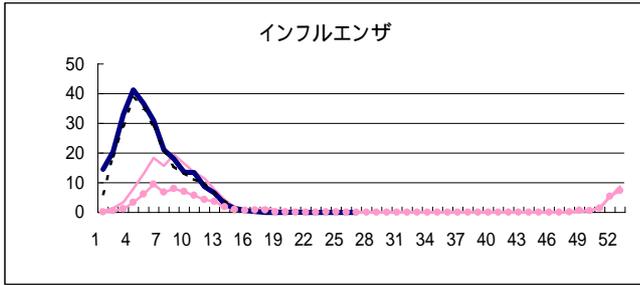


COXSA. A2:コクサッキーウイルスA2型
COXSA. A3:コクサッキーウイルスA3型
COXSA. A4:コクサッキーウイルスA4型
COXSA. A5:コクサッキーウイルスA5型

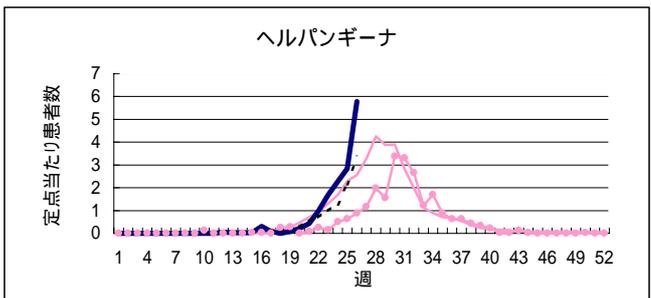
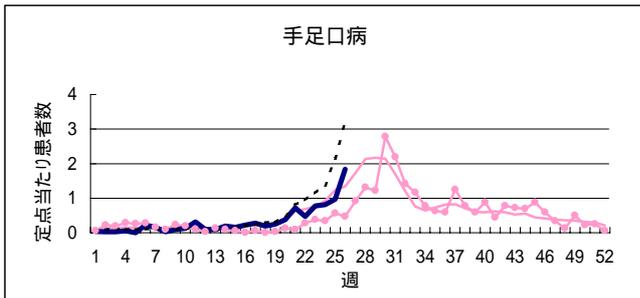
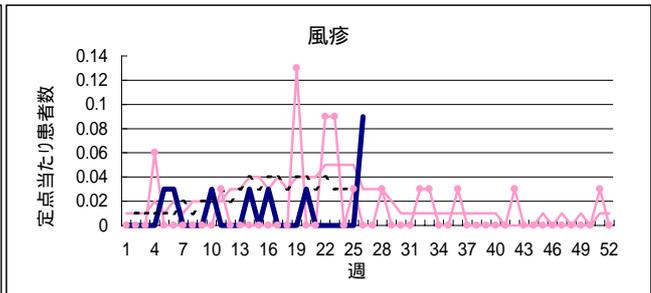
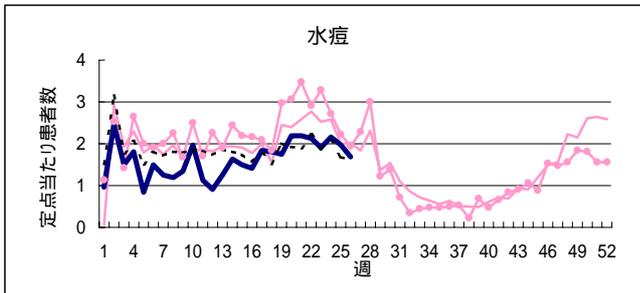
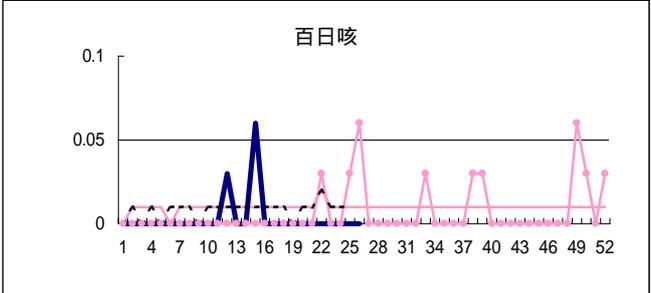
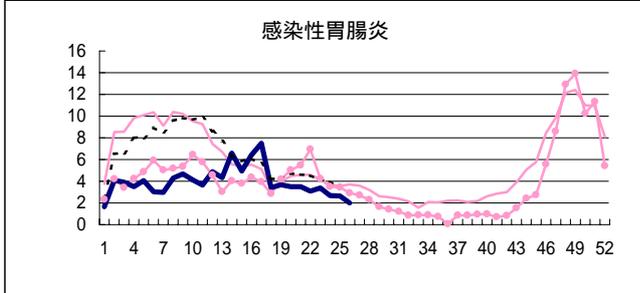
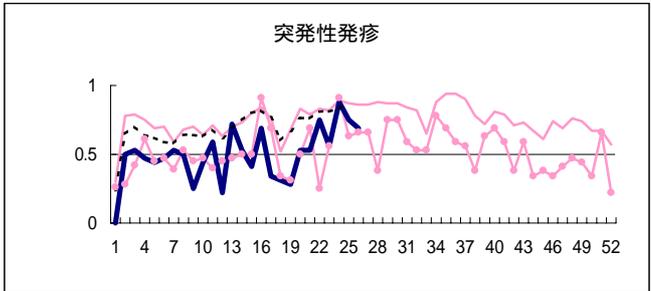
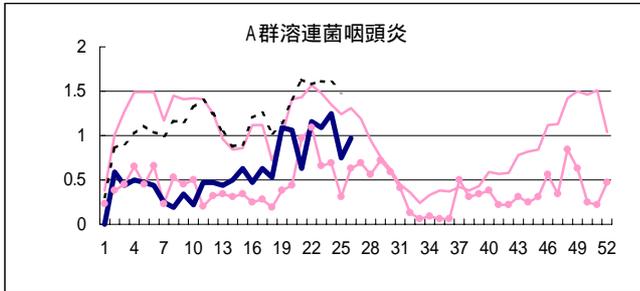
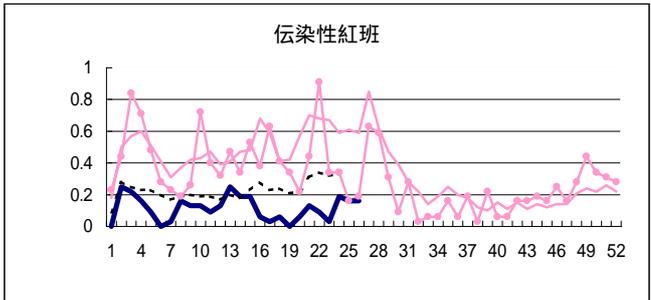
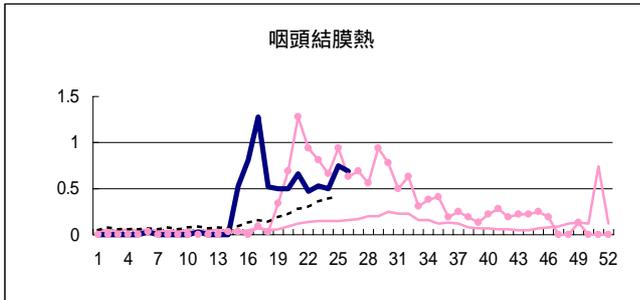
COXSA. A6:コクサッキーウイルスA6型
COXSA. A8:コクサッキーウイルスA8型
COXSA.A10:コクサッキーウイルスA10型
CA その他:その他のコクサッキーウイルスA型

CB:コクサッキーウイルスB型
ECHO13:エコーウイルス13型

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第26週)



H14 { 滋賀 (solid pink line)
 全国 (dashed pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dashed blue line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第26週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○ 〕
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 - - - - - 〕

